



広報

あつま

2013. NOV

11

No.735

厚真町環境保全林散策会

森林の小路づくり Vol.2

10月20日、厚真町環境保全林で散策会が行われました。
整備を進めてきた散策路をガイドと歩き
アウトドアランチパーティーを紅葉が始まった森林で楽しみました。



ランチの準備にご協力いただいたみなさん

自然酵母を使った香り豊かな生地に季節の厚真産野菜をのせた石釜ピザ

ランチの準備は、地域おこし協力隊・特産品開発支援員の2人を中心に、参加者12人が加わって行われました。

当日は集合して軽い打ち合わせを行った後、さっそく会場へ移動し、ピザ生地や具材をカットしました。ピザ生地は、特産品開発支援員の高田さんに、地元産の小麦をベースにライ麦と全粒粉を混ぜ合わせ、自然性天然酵母を用いた香り豊かな生地を準備してもらいました。また、生地にのせる具材も厚真産。カボチャやメークイン、ピーマン、シイタケなど、この時期に収穫されている野菜などをふんだんに使った、見た目にもおいしいピザができました。

会場には、洞爺湖町にある会社からお借りした石釜を設置して、参加者にもピザを焼いてもらいました。参加者はおいしいピザを食べたり石釜での調理を楽しんだりしていました。

身近に生息する意外な生物

10月20日、心配された雨は降らず、散策会は予定通り行われました。

当日は、散策会に31人、ランチ準備に12人が参加。また、札幌から自然ガイドの方の応援もいただき、普段は見過ごしている身近な植物の説明を受けました。

歩き始めてすぐに、「クロビイタヤ」という環境省のレッドリストに掲載されている絶滅危惧種が環境保全林内に生育していることが確認され、参加者はその存在に驚いている様子でした。その他にも、希少な野草やキタコブシの種子、ミズナラとコナラの違いなどを確認し、身近な自然への理解を深めていました。

森の小路での散策会

秋の明るい林内を普段よりゆっくり歩きながら
森の風を感じる



木橋から見る小川は少し見え方が変わります



ガイドのお話は興味深いものばかりでした



(通称大浦橋の前で散策会参加者の記念撮影)

歩きやすい路に行く

今年2回目となった今回の散策会。前回は春に行われましたが、散策路はまだ無く、道なき道を進むという冒険的な要素が強かったです。今回は、散策路の整備後初めて開催され、春の散策会に参加していた方からは、歩きやすく整備された散策路に驚きの声が上がっていました。

散策路の整備は、町内の有志の方々と地域おこし協力隊、林業支援員、町が共同で行いました。ルートは、春の散策会の参加者の意見を参考に、魅力的な場所や歩きやすくなる場所をつなぐように計画しました。中でも、小川付近を通るルートは水の流れるある湿地を横目に見ながら紅葉を楽しむことができるように配置されており、参加者は簡素な構造の木橋を渡り、清らかな水辺をより身近に感じていたようでした。

いろんなものを
みつけたよ



こぶしのたね

カナデヨロ

なんの実かな？



キノコ



散策路は歩きやすく整備されていました

森の広場でのアウトドアランチ

紅葉に囲まれた明るい場所で
出来立てのランチを食べる



外で食べるご飯は格別です

ダッチオーブンタワールにバエリア、温かいスープも一緒に

特産品開発支援員の石田さんが中心となって準備を進めたのは、ダッチオーブンで作るローストポークとシーフードバエリア、温かいミネストローネスープです。当日は、ダッチオーブン5個にバエリアパ2個、そして参加者の方々に持ち寄ってもらった大きな鍋で調理を行いました。

ローストポークを作るためのダッチオーブンはタワールのように3段に積み重ねられ、見慣れない光景に参加者は興味津々の様子。料理が完成し、ダッチオーブンのふたを開けた際には、参加者から歓声が上がった一幕もありました。シーフードバエリアのお米はもちろん厚真産。いつもとは違う食べ方ですが、収穫したての新米に、参加者は舌鼓を打っていました。

時折冷たい風が会場に吹きまわしましたが、野菜がたっぷり入ったミネストローネもあり、参加者は体を冷やすことなくランチを楽しんでいました。

うまく
焼けるかな



おかわり！



ダッチ
オーブン



①



②



③

①厚真米を使ったシーフードバエリア ②野外調理ならではのダイナミックなローストポーク ③アツアツが美味しい焼き立ての石釜ピザ

これからも
お気軽に

今回の散策会は、散策路の設置から木橋の資材提供まで、多くの町民の皆さんのご参加をいただきました。また、散策会当日にも、調理器具や食材、薪のご提供をいただき、ありがとうございました。これからも、町民の皆さんと協力しながらイベントの開催や環境保全林の整備を進めていきたいと思っております。少しでも興味をお持ちの方は、いつでもお気軽にご参加ください。よろしくお願いします。

厚真町 グリーン・ツーリズム通信 (Vol. 6)



「厚真町グリーン・ツーリズム通信」の第6号です。厚真のグリーン・ツーリズムの最新の動きをお伝えします。

厚真町の「いも掘り観光」で 収穫の秋・食欲の秋を満喫

8月下旬から9月中旬にかけて、町内3カ所の農園で「いも掘り観光」が開催されました。
今年度は、近隣自治体の町内会や小学校、企業の親睦団体を中心に27団体、約1,300人が厚真町を訪れました。前日に大雨が降ったり、天気予報が目まぐるしく変わるなど、天候面での不安が常にありましたが、いも掘り中の天候は比較的安定しており、参加者の皆さんは安心していも掘りを楽しむことができました。また農場や昼食会場では野菜の販売も行われ、たくさんの方々が野菜やジャガイモがたっぷり詰まった袋を抱えていました。
午前中にも掘りを体験し、午後からは町民広場やこぶしの湯でジンギスカンの昼食を味わう団体も多く、手元も胃袋も満杯状態でした。まさに収穫の秋ならではの光景です。



▲ 町民広場でジンギスカン



▲ いも掘りの様子



▲ 農場では野菜の直売も



▲ あつまるくんも来てくれました



田んぼのオーナー「稲刈り体験会」を開催

10月6日に、田んぼのオーナーのイベント第3弾「稲刈り体験会」が開催されました。当日の午前中は薄曇りの空でしたが午後からは青空も垣間見え、暖かく過ごしやすい一日でした。今回は町内外から35グループ、94人のオーナーの方々にご参加いただき、過去最多の参加者数となりました。

田んぼを管理している農家による説明の後、さっそくみんなで鎌を手に田んぼの中へ。大人も子どもも、手作業での刈り取りに汗を流していました。

その後、こぶしの湯あつまの屋外バーベキューコーナーで昼食会を開催。ジンギスカンでお腹を満たし、午後からは、希望者を対象に特別体験メニューとして町内の農園で「こくわ狩り」を体験しました。参加者は、持ち帰り容器にひたすら摘み取ったり、農園内を移動しながら摘み取って食べ歩いたり、さまざま形でこくわ狩りを楽しみ、普段ほとんど目にするのではない「こくわ」を味わい、大満足の様子でした。

収穫したお米は、11月10日にオーナーの皆さんへお渡しする予定です。



▲ 昼食は外でジンギスカン



▲▼ こくわ狩りの様子



▲ 集合場所では「あつまるくん」がお出迎え



▲ 手作業で刈り取りを体験 ▲



こぶしちゃんの部屋

Q1. 厚真町でのグリーン・ツーリズムの取り組みに加わるには？

町ではグリーン・ツーリズムの取り組みを実践していくために「厚真町グリーン・ツーリズム運営協議会」を設置しています。まずは、こちらの協議会にご参加ください。協議会には「体験・交流」、「ファームレストラン」、「地域メニュー・特産品開発」、「広報・宣伝」の4つの部会も設置されています。なお、複数の部会に参加することも可能です。

Q2. グリーン・ツーリズム運営協議会の会員になるには？

農業体験や農家民泊で都市住民を受け入れたい農家の方、将来的にファームレストランを開業したい方やグリーン・ツーリズムのガイドをやりたい方、特産品を開発して販路を開拓していきたい方、厚真町ならではの資源を活用して何かに取り組みたい方など農家以外の方も参加可能です。

会員は随時募集しています。会費はかかりません。個人・団体を問わずどなたでも参加できますので、お気軽に事務局までお問い合わせください。

【事務局】産業経済課 商工観光林業水産グループ ☎27-2486 / FAX27-3944

▼ 厚真町グリーン・ツーリズム運営協議会の様子



「こぶしちゃん」がグリーン・ツーリズムに関するあらゆる質問にお答えします！

パン教室を通じて地元の食材を再認識

10月29日、厚真町地域おこし協力隊活動拠点（本郷・旧セブンイレブン）でのパン教室が始まりました。
地域おこし協力隊特産品開発支援員の高田真衣さんが講師を務め、町内在住の5人が参加。3回クラス初日のこの日は、町内で作られたトマトピューレとバジルを使ったトマトフォカッチャと、町内の新豆（大納言・紅とら豆）などを使った豆パンを作りました。小麦粉も地場産のものを使用しています。
2時間ほどの教室で、参加者は自家製酵母の起こし方の説明やパン生地成形、焼成、生地こね、焼き上がったパンの試食までを体験。3回クラスでは6種類のパンを作るため「次回も楽しみ！」との声が多く聞かれました。12月までの申込みは既に定員に達しましたが、来年1月からは、親子対象や土曜開催のクラスも予定しています。
このパン作り教室は、グリーン・ツーリズムの新しい食体験プログラムの一つとして、町の食文化や食文化を多くの人に知ってもらう機会となることが期待されます。



▲ まずは生地の分割



▲ 形を整えます



▲ 焼き上がりました



▲ こねの作業



▲ トマトフォカッチャを成形

▲ 焼き立てパンを試食！

特別会計の状況

市町村の財政には「一般会計」と「特別会計」の2種類があります。

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」とその使い道を示す「歳出」の2つから成り立っています。

特別会計は、市町村が行っている特別の事業に対して、支出や収入を分かりやすくするために一般会計とは分けて経理するものです。厚真町では現在、6つの特別会計があります。



防火パレードに参加するこども園つみきの園児

（単位：円）

特別会計名	予算現額	収 入		支 出	
		収入済額	収入率％	支出済額	執行率％
国民健康保険事業	660,357,000	244,216,894	37.0	278,525,344	42.2
介護保険事業	480,327,000	172,801,826	36.0	185,134,386	38.5
介護サービス事業	31,320,000	1,227,127	3.9	12,949,974	41.4
簡易水道事業	882,746,000	51,855,158	5.9	130,171,864	14.8
公共下水道事業	177,188,000	20,295,320	11.5	77,649,509	43.8
後期高齢者医療	70,000,000	23,239,610	33.2	25,273,684	36.1

地方債の状況

国などから借り入れた長期間の借入金をいいます。

区 分	金 額
一 般	77億1,773万4千円
簡易水道事業	11億2,255万5千円
公共下水道事業	12億8,828万8千円
合 計	101億2,857万7千円
H25.3末対比	2億7,839万9千円

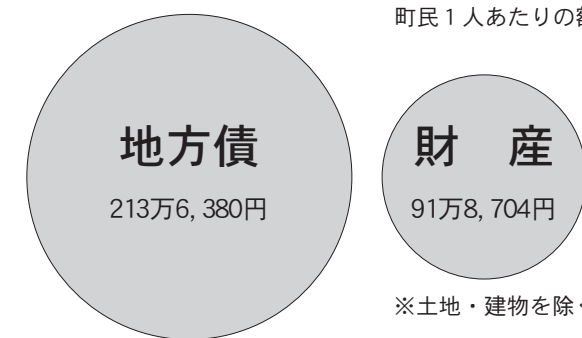
※地方債のうち、内容によっては返済額の一部が地方交付税で補てんされるものもあります。

一時借入金の状況

一時的に金融機関から借り入れして支払いに充てるお金をいいます。

区 分	金 額
一般会計	無 し
特別会計	無 し

地方債と財産の比較



財産の状況

財産は、出資による権利、債権、土地・建物のほかに、特定の目的のために準備しておく元手の資金をいう基金があります。※土地開発基金には、貸付金が含まれています。

区 分		金額(千円)
出資による権利		177,585
債 権		205,773
基 金	財政調整基金	1,343,941
	減債基金	82,879
	地域振興基金	466,494
	緑化事業基金	34,332
	文化振興基金	18,030
	水基金	994,053
	土地開発基金	139,629
	総合ケアセンター維持運営基金	65,718
	庁舎建設基金	321,035
	中村教育振興基金	3,079
	公共施設維持補修基金	78,266
	エンゼル基金	55,624
	簡易水道基金	36,822
	公共下水道基金	53,846
	国民健康保険給付費等支払準備基金	42,653
	介護保険給付費等支払準備基金	33,018
	高齢者グループホーム維持運営基金	878
	石油貯蔵施設立地対策等基金	0
	担い手育成夢基金	101,898
	大型開発跡地等環境保全基金	100,021
	基 金 計	3,972,216
合 計		4,355,574
H25.3末対比		337,964

土 地

25,080,806.12㎡

建 物

84,674.68㎡

一般会計の状況

歳 入

（単位：円）

	予算現額	収入済額	収入率％
町 税	1,659,725,000	921,300,488	55.5
地方譲与税	102,001,000	26,153,581	25.6
地方消費税交付金	54,000,000	30,586,000	56.6
地方交付税	1,774,468,000	1,209,634,000	69.3
分担金・負担金	83,761,000	6,222,400	7.4
使用料・手数料	102,667,000	45,088,988	43.9
国庫支出金	371,194,000	63,768,060	17.2
道支出金	760,546,000	36,378,576	4.8
財産収入	45,650,000	43,216,342	94.7
繰入金	32,802,000	152,981	0.5
繰越金	217,617,000	274,956,792	126.4
諸収入	174,411,000	27,223,316	15.6
町 債	666,705,000	0	0.0
その他	21,310,000	14,198,000	66.6
歳入合計	6,036,857,000	2,713,077,524	44.9

歳入のその他の内訳

	予算現額	収入済額	収入率％
利子割交付金	1,500,000	564,000	37.6
配当割交付金	400,000	148,000	37.0
株式等譲渡所得割交付金	100,000	0	0.0
自動車取得税交付金	15,000,000	8,114,000	54.1
地方特例交付金	1,200,000	1,333,000	111.1
交通安全対策特別交付金	1,000,000	519,000	51.9
寄附金	2,110,000	3,520,000	166.8
その他計	21,310,000	14,198,000	66.6

歳 出

（単位：円）

	予算現額	支出済額	執行率％
議会費	52,600,000	28,035,083	53.3
総務費	417,027,000	111,697,250	26.8
民生費	765,280,000	239,736,032	31.3
衛生費	242,771,000	90,011,920	37.1
労働費	42,139,000	17,339,310	41.2
農林水産業費	617,819,098	176,094,944	28.5
商工費	102,976,000	61,533,356	59.8
土木費	802,858,000	153,835,735	19.2
消防費	439,430,000	141,143,090	32.1
教育費	771,164,000	302,626,322	39.2
公債費	972,472,000	481,276,416	49.5
給与費	806,138,000	405,044,252	50.3
予備費	4,182,902	0	0.0
歳出合計	6,036,857,000	2,208,373,710	36.6

マチの家計簿

皆さんに納めていただいた税金や国・道からのお金は、どのくらい使われているのでしょうか。
地方自治法および町条例の規定に基づいて、今年9月末現在の平成25年度各会計予算の歳入・歳出、地方債、財産の状況についてお知らせします。

一般会計、特別会計を合わせた予算83億3,879万5千円を町民1人あたりにすると、175万8,868円です。

1世帯あたりでは、398万9,854円になります。

◆町の人口

人 口 4,741 人

世帯数 2,090 世帯

（平成25年 9月末現在）

担当者からの回答

お寄せいただいたご意見等に対する担当者からの回答をご紹介します。

◎町内に公園をつくってほしい。または、充実させてほしい。
フォーラムビレッジに公園を整備してほしい。

⇒現在、フォーラムビレッジには遊具の設置を進めています。
年内には完成予定となっています。
また、上厚真地区においても宅地分譲を行うにあたり、こども園設置や公園整備を計画しているところ。
既存の公園の充実に関しては、新町公園に新たな遊具が設置される予定となっています。



◎厚真に時間を気にせずに居られるカフェなどができればよい。

⇒昨年度から町内に食事とコーヒーなどが楽しめる店舗がオープンしました。また、今後も数件オープンするという話を聞いています。
厚真にゆっくりと時間を過ごせるカフェができて、週末などにカフェめぐりなどができるようになるといいですね。

◎公共施設や病院にベビーベット等を設置してほしい。

⇒新たに、ケアセンターゆくり内にベビーベッドを設置しました。今後も安心して子育てができる環境の整備を進めていきます。

◎コンビニの誘致やＡＴＭが使える店舗を設置してほしい。

⇒引き続き、既存店舗の活性化と新規店舗の誘致について継続検討していきます。

たくさんのご意見等をいただき、ありがとうございます。

今後も、厚真の未来のために、ご意見・ご要望があればご投函ください。

(担当：まちづくり推進課企画調整グループ)



あつま未来箱の 状況報告



たくさんの
ご意見・ご要望
ありがとうございます！

昨年８月に町内６カ所に設置された「あつま未来箱」。運用開始から１年以上が過ぎ、町民の皆さんからどのような声が届いているかをお知らせします。

また、インターネットで投稿できる意見箱に寄せられたご意見も併せてご紹介します。

あつま未来箱の概要

あつま未来箱は、町民はもちろん、どなたでも提案・要望できる意見箱として、町内の施設６カ所に設置されています。(厚真町役場本庁舎、総合ケアセンターゆくり、上厚真支所、桂歯科クリニック、あつまクリニック、厚真歯科)

運用状況

昨年８月からの「あつま未来箱」と「インターネット意見箱」へ寄せられた意見数は次のとおりです。

●あつま未来箱への意見の総数 108件（昨年８月より）

●インターネット意見箱への総数 35件（昨年８月より）

(インターネット意見箱は、役場ホームページから投稿することができます。)

意見・要望等の内訳

皆さんからお寄せいただいたご意見等の一部をご紹介します。

なお、いただいたご意見・ご要望は、今後の町政運営の参考にさせていただきます。

多く寄せられている意見・要望等

◎子どもの遊ぶ場所の整備および充実についての要望

◎公共交通への要望

◎子育てに関する要望

◎店舗誘致などへの要望



◆あつま未来箱を青少年センターロビーにも設置します◆

11月５日（月）から、「あつま未来箱」を青少年センターのロビーにも設置することとしました。

今後も町政に対する意見や未来のまちづくりへの意見・要望等がありましたら、ぜひお寄せください。

また、公式キャラクター「あつまるくん」が誕生し、町内のイベントなどに登場していますが、キャラクターの活用などについても提案などがありましたらお待ちしております。



◆◆◆ご協力とご来場を◆◆◆

町コミュニティ運動推進協議会

「歳末助け合いチャリティー即売会」

物を大切にする環境づくりを目指し、たくさんの町民の皆さんから寄付していただいている「歳末助け合いチャリティー即売会」を今年も開催します。

寄付していただいた物品は安価で販売し、即売会での収益金の一部を歳末助け合い募金に寄付します。
皆様のご協力とご来場を心からお待ちしております。

なお、今年度から、売れ残った商品の処分に費用が発生することから、精査の上ご協力いただきますようお願いいたします。

繊維リサイクルにもご協力をお願いします

繊維リサイクルとは、古衣料をウエス（工業用雑巾）に再生することです。「チャリティー即売会には古すぎてダメだけど、繊維リサイクル用としてなら良いかな」という衣料がありましたら寄贈ください。

回収ボックスは通年で、総合福祉センター、厚南会館、こども園つきみ、宮の森保育園（上厚真）の４カ所に設置しています。繊維リサイクルについてもご協力ください。

とき 12. 1 日 午前10時～正午

ところ 総合福祉センター２階青年室

ご協力にあたってのお願い

- ◆衣類、運動用品、台所用品の寄付をお願いします（衣類については洗濯してあるもの）。
- ◆家電用品、家具など大きくて運びにくいものはお断りしています。
- ◆回収期間 11月25日（日）から11月28日（水）まで
- ◆回収場所 地区のコミュニティ推進員のお宅か総合福祉センターまで

問い合わせ先

同協議会事務局（役場まちづくり推進課企画調整グループ内・☎27-3179）

10月のまちの話題

高齢者の安心・安全を見守ります

コープさっぽろと町が高齢者見守り協定を締結

生活協同組合コープさっぽろと厚真町が「高齢者見守り協定」を締結し10月21日、コープさっぽろの山口専務と宮坂町長が手交式を行いました。

締結内容には、宅配時の声かけや見守り、異変発生時の通報などが盛り込まれており、厚真町が道内で69番目の締結となりました。

宮坂町長は「消費者と接する機会の多い事業者による安心ネットワークへの参加によって、大きなバックアップができた。今後も連携して地域の安心を作っていきたい」とお礼の言葉を述べ、山口専務は「昨年は、宅配時にトイレに閉じ込められた高齢者を発見し、大事に至らなかったという事例がありました。今後も地域の安心を増やしていきたい。」と語っていました。



締結書を交わす山口専務と宮坂町長



家族に見守られ 滝諒一さん100歳のお祝い

滝諒一さん（鹿沼）が10月15日、満100歳を迎え、宮坂町長が祝福に駆け付けました。滝さんは大正2年10月15日に鹿沼で出生。昭和9年に妻・ミツエさんと結婚し、2男4女を授かり、孫11人に恵まれました。長年農業に従事し、今も長ネギや花などを育てています。長男の富蔵さんは「父は温厚な性格。6人の子どもを育て上げ、こうやって長生きしてもらえて喜んでます」と話し、宮坂町長は「これからも諒一さんに負けないように頑張って努力してまいりたいです」とお祝いの言葉を贈っていました。



宮坂町長から賞状を受け取る滝さん

出来秋の報告 JAが学校給食に新米提供

10月2日、JAとまこまい広域農業協同組合の秋永徹代表理事専務らが町長室を訪れ、宮坂町長と兵頭教育長に新米の厚真産さくら米（ななつぼし）50kgを寄贈しました。寄贈にあたり秋永代表専務理事が「今年も粘りのあるおいしいお米ができました。ぜひ学校給食に使ってください」と米袋を手渡し。宮坂町長は、「生産者の方が丹精込めて作ったお米に感謝して、子どもたちの学校給食に大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。寄贈されたお米は、小学校・中学校の給食に使用されました。

まちなか交流館（仮称）構想の策定に向けて タウンミーティングを開催



役場職員の説明に耳を傾ける出席者

現在町が進めている「まちなか交流館（仮称）構想」の策定に向けて町民の意見を聞くタウンミーティングが10月10日、総合福祉センターで開催され、町民34人が出席し、さまざまな意見が出されました。

まちなか交流館（仮称）構想は、厚真市街地の空き店舗を借り受け、障がいのある方の就労支援と市街地の活性化を図る施設として策定が進められているもの。この日は、担当者から

構想案について説明がされた後、町民から質疑や「気軽に小さな子どもを連れてお茶が飲める場所がほしい」、「トイレを子どもからお年寄り、障がい者まで使いやすい形にしてほしい」などの意見・アイディアなどが多数寄せられました。



1市5町が集まり 「東胆振物産まつり」を開催

10月25日から3日間、苫小牧駅前プラザegaを会場に「第30回東胆振物産まつり」が行われました。初日のオープニングイベントでは1市5町の関係者によるテープカットやくす玉割りが行われ、心待ちにしていたお客が列を作り、もちが振る舞われました。今回は、30回の節目に合わせ30店舗が出店。厚真町からも4店舗が参加し、新米や農産物をはじめ、ジンギスカンやどら焼き、トマトやシソのジュースなどが販売されました。



苫小牧生命保険協会が 社協へ福祉関連物品を寄贈

10月17日、苫小牧生命保険協会の丸山浩一会長から厚真町社会福祉協議会松平功会長に対して福祉関連物品が寄贈されました。この活動は、同協会が平成3年から全道の社会福祉協議会を対象に行っているもの。今回はポータブル発電機とポータブル石油ストーブが寄贈され、今後、災害時やイベントなどのほか、町民への貸し出しなども検討されるとのことです。



こども園つみき（宇佐美修一園長）主催のマラソン大会が10月10日、京町のつたえり公園を会場に行われました。前日までの曇天が嘘のように晴天に見舞われ、絶好のマラソン日和となったこの日、園児たちはクラスごとに分かれて、最後まで一生懸命、元気に走っていました。各クラス上位3位の園児たちには、金・銀・銅のメダルが授与され、入賞した園児たちは、とても良い笑顔で園長先生からメダルを受け取っていました。

スポーツの秋・つみき園児がマラソン大会

浄化センターで児童らがヒマワリの種取り

厚真町浄化センター裏に植えられていたヒマワリが種の採取時期を迎え、10月17日、中央小学校の放課後子ども教室に参加している1～2年生の児童が種取り体験をしました。児童らは軍手をはき、1人ひとりビニール袋を持って、枯れてトゲトゲしているヒマワリから種を袋いっぱいに取りました。残りのヒマワリの種は、町の担当者や浄化センター職員で採取し、来年の種まき用として保管されるとのことです。





高校生と英語で会話しカードをもらう子どもたち

高校生と楽しく英語を勉強したよ！

10月29日、厚真高校生が学童保育で行われている「放課後英語教室」に参加し、子どもたちと楽しく英語を学びました。これは、北海道教育委員会の事業「平成25年度地域教育政策推進事業」の一環として町教育委員会と厚真高校が連携して実施したもので、来年3月まで計6回予定されています。この日は同校のESS（英会話クラブ）とボランティア部の生徒5人が児童会館の学童保育を訪れ、子どもたちと楽しくゲームなどを行いました。参加した2年生の大塚鈴菜さんは「とても楽しかったです。また機会があればぜひ参加したいです」と話していました。

防火パレードで火災予防を呼びかけ

秋の火災予防運動に合わせ、胆振東部消防組合厚真支署と厚真消防団による防火啓発パレードが10月15日、京町と上厚真の2カ所で行われ、こども園つきみ園児や地域住民など70人が参加。京町では「火の用心」と入った法被姿のこども園つきみ園児や、たすきを着けた消防団員や地域住民などが行進。後に続いた消防車両6台も注意喚起に努めました。

パレード終了後、厚真消防団の木村幸一消防団長は「火災のない明るい町をつくるため、一人ひとりが気をつけて年末を迎えましょう」と呼びかけていました。



町内を行進し火災予防を呼びかけ

Trick or Treat！ハロウィンパーティー

町教育委員会主催のハロウィン・パーティーが10月25日、総合福祉センターで開催され、町内の小学生約100人が参加し、楽しいひとときを過ごしました。今年は、近隣市町などからALT（外国語指導助手）十数名が参加。また、厚真高校の英語クラブの生徒たちもボランティアで参加し、パーティーを盛り上げました。

参加した子どもたちはハロウィンらしい衣装に身を包み、フェイスペイントやマスク作り、お化け屋敷、キャンディースローなどのゲームを楽しんでいました。



ハロウィンらしい仮装で、はいチーズ！

厚真川河川敷でコスモスの種取り

10月23日、厚真川左岸河川敷でコスモスの種子採種が行われ、花フレンズの会員や一般ボランティア、役場職員ら20人ほどが参加し、コスモス畑に分け入りながら、1センチほどのコスモスの種子を丁寧に採取しました。

コスモスの種まきと種子採種は、2004年から花フレンズの会員らが中心となって行われている美化活動で、採取した種子は会員によって乾燥され、来年まく種の一部として使用されます。この日は、1時間半ほどの作業で段ボール1箱分の種子が採取されました。



コスモス畑で種取りを行う参加者

秋晴れの下 ふれあいマラソン大会

10月14日、第14回健康ふれあいマラソン大会が開催され、スポーツセンター周辺を会場に、町内の小・中学校、高校、一般参加者約164人が秋晴れの下、心地よい汗を流しました。

距離は、小学生・中学生女子・一般女子が3km、中学生男子・一般男子が5kmのコースで行われ、午前10時の号砲で一斉スタート。選手らは自分のペースを守りながらゴールを目指し、沿道から声援を受けながら力走していました。また、ウォーキングの部では、周りの景色を楽しむ親子などの姿も見られました。



スタートラインで合図を待つ参加者

いざという時に備えて 浜厚真・厚和自治会で津波避難訓練

10月31日、浜厚真地区の高規格道路・日高自動車道に設置された緊急避難所で、町主催の浜厚真自治会と厚和自治会を対象とした津波避難訓練が行われ、地域住民ら31人が参加しました。

今回は、M9.1の巨大地震が発生し、その後大津波警報が発令、警報から50分後に津波が到達することを想定して実施。防災無線等で避難指示を受けた住民らは、避難所まで車や徒歩で移動。徒歩での最後の避難者が着くまでに40分ほどかかり、参加者からは「ここまで来るだけで足が痛くなった」、「仕事をしていたら防災無線は聞こえないかも」などの声も聞かれました。防災担当の町総務課では、今回の訓練やアンケート結果を防災対策等に生かしていくとのことです。



避難所を目指して坂を上る住民ら

本郷地区でノルディックウォーキング大会

10月8日、こぶしの湯あつまを発着とした「第1回ノルディックウォーキング大会」が行われ、ノルディックウォーキング愛好家や初チャレンジの方など15人が参加しました。

これは、今年9月に北海道まちづくり財団がノルディックウォーキングに適したコースとして本郷地区のコースを「すこやかロード」に認定したことから企画されたもの。参加者は、体力に合わせて3つのグループに分かれ、急な山道をポールをうまく使いながら登ったり、ゆっくり休みながら紅葉を楽しんだり、1時間ほど心地よい汗を流しました。



紅葉を楽しみながらウォーキング

厚真高校生が交通安全を呼びかけ

10月23日、厚真高校1年生による交通安全普及街頭活動が本郷特産品広場前で行われ、沿道に並んで旗の波をつくり、乗用車等にチラシとティッシュを配って「安全運転をお願いします」と呼びかけました。

この活動は、街頭活動によって地域の通行車両に交通安全をアピールするとともに、生徒自らも事故に遭わないよう意識を高めることがねらい。厚真駐在所の保里所長は「日没時間が早くなり、ドライバーから歩行者や自転車が見つけづらくなっています。反射材や目立つ服装をするなどして事故に遭わないようにしてください」と話していました。



沿道に並んで旗の波を行う男子生徒ら

小・中学生が文化祭で交流を深める

第46回厚真町中小文化祭が、10月3日（中学生の部）と10月31日（小学生の部）に行われ、各学校の児童生徒が学習の成果を発表しました。

小学校の部では、中央小学校体育館を会場に、中央小と上厚真小の児童が合唱や器楽、体を使った表現などを発表。最後には、両校の児童全員で「Forever」を合唱して交流を深めました。中央小6年生の笠原あいかさんは「最後に全員で合唱ができたので2校がひとつになってよかった」と感想を話していました。文化祭の後には、各学校からいじめ対策の取り組みとして行っているさまざまな工夫が紹介されました。



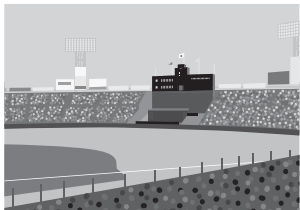
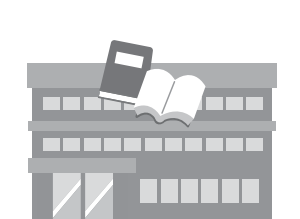
両校児童全員で全体合唱を披露

安平・厚真・むかわ 3町広域交流事業協定終了による 施設等の料金変更について

平成25年度をもって、安平・厚真・むかわ3町広域交流事業協定が終了となります。
それに伴い、今まで安平町・むかわ町・厚真町の町民が各町のスポーツ施設等を利用した場合は町内者利用料金と同額で利用できましたが、平成26年4月1日からは、施設が所在する町の町民以外は、各町で定める町外者利用料金に変更になりますので、お知らせします。

変更となる施設名

町 名	施設の名称	備 考
安平町	安平町安平山スキー場 安平町多目的スポーツセンター 安平町柏が丘球場 安平町鹿公園キャンプ場 安平町追分テニスコート	(追分地区)
	安平町スポーツセンターせいこドーム 安平町ときわ球場 安平町スポーツ合宿所 安平町ときわキャンプ場	(早来地区)
厚真町	あつまスタードーム 厚真町スポーツセンター かしわ公園野球場 大沼野営場 厚真町民スケートリンク	
むかわ町	穂別博物館 穂別地球体験館 穂別豊進国民休養地野営場 穂別ふれあいパークゴルフ場 穂別テニスコート 穂別野球場 中村記念館 穂別スケートリンク 穂別水泳プール 穂別スキー場 穂別スポーツセンター 穂別町民センター	(穂別地区)
	鵠川町民体育館 学習交流センター「まなぶ館」 田浦野球場 田浦第2野球場 むかわ町ゲートボール場 鵠川スケートセンター 鵠川テニスコート 生涯学習センター「報徳館」 鵠川運動公園パークゴルフ場	(鵠川地区)



利用料金や不明な点は、各町の施設にお問い合わせください。

○厚真町役場
(☎27－2321)
○むかわ町役場
(☎0145－42－2411)
○安平町役場
(☎0145－22－2511)

気象台からの 防災メモ

暴風雪について

雪を伴う暴風によって、重大な災害が発生するおそれがある時に発表されるのが「暴風雪警報」です。
気象台では「暴風による重大な災害」に加えて「ふぶきや吹き溜まり等による重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかけます。



最新の気象情報をチェック！ 外出はできる限り控えましょう

発達した低気圧の通過等により天気急変し、風雪が強まるおそれがある場合は、最新の気象情報をチェックし、できる限り外出を控えましょう。
また、しばらく外出できない場合も考えられるため、食料や飲料水等を確保しておくほか、念のため停電に対する準備もしておきましょう。



やむを得ず車で外出する時はしっかり準備を！ 危険を感じたら無理せず回復を待ちましょう

やむを得ず車で外出しなければならない場合は、ふぶきや吹き溜まりによって車が動けなくなることも想定し、防寒着や非常食、スコップ、けん引ロープ等を用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。
また、運転をしていて、ふぶきにより視界が急に悪化する等危険を感じたら、無理をせずコンビニやガソリンスタンド、道の駅等で天気の回復を待ちましょう。



【問い合わせ】室蘭地方気象台（☎0143－22－4249）

I LOVE

まちかど歳時記



雪虫（ゆきむし）
（撮影場所：軽舞）

日に日に寒さが増し、街中で雪虫をよく見かける季節になりました。
北海道では初雪の降る少し前に出現することから、冬の訪れを告げる風物詩ともなっている「雪虫」。
雪虫は、アブラムシのうち、白腺物質を分泌する腺が存在するものの通称。体全体が綿で包まれたようになり、フワフワと漂うように飛ぶ姿が雪を連想させることから名づけられたようです。体長は5mm前後で寿命は一週間ほど。熱に弱く、人間の体温でも弱ってしまうほどです。

写真提供：河村敏弘さん（軽舞）

『まちかど歳時記』では、地域の行事の情報や風景等の写真を募集しています。ぜひ、お住まいの地域の行事情報や風景等の写真をお寄せください。お気軽に、まちづくり推進課企画調整グループまで。（☎27-3179）



Kid's Room

みんなでつくる
ごきげんなコーナー
キッズ・ルーム

HAPPY
BIRTHDAY

11

月生まれ

ママも、子どもも
大満足！
『笑顔』大歓迎の空間へ集合！
ママ友同士で気軽に
応募してください！



たけやま きりゅう
武山 喜竜くん6
H19. 11. 2（本郷）



うちやま ひろと
内山 裕翔くん5
H19. 11. 20（上厚真）



こんの にいな
今野 仁菜ちゃん5
H19. 11. 26（上厚真）



くましほ
神代こころちゃん4
H20. 11. 27（表町）

笑顔募集中！

誕生日の記念に、お子さんのステキな笑顔で紙面を飾ってみませんか。締め切りはお誕生月の前月20日ごろ。満4歳から満6歳までのお子さんの写真を募集します。どうぞ気軽にお電話ください。（締切厳守）

▶まちづくり推進課（広報担当） ☎27-3179

あつま



表町

眞嶋

珠枝さん

（46歳）

楽しいイベントを続々企画中！

今年8月からこぶしの湯あつまいイベント企画室のスタッフとして勤務する眞嶋さん。8月に厚真町民になったばかりだが、10月13日に開催された「おいしい！たのしい！マーケット」を企画するなど、こぶしの湯あつまを中心とする集客イベントをはじめ、あつまの魅力幅広く発信する厚真人の一人である。
「厚真には、20年以上前に農薬販売の会社で勤めていた頃、全道の農協など回っていた時に訪れていました。自然が多く景色がきれい、それにジンギスカンがおいしい町という印象を持ちました」という。
その後、趣味の服飾が高じて、出身地の札幌で音楽アーティストのオーダーメイド衣装や着ぐるみ衣装の製作を手掛けるようになり、服飾業界に10年ほど席を置いた。この頃からイベント企画などにも参加するようになり、商品企画や地域資源を活用した音楽イベントなど幅広く携わるようになったそう。

「厚真に来たきっかけは、3年ほど前に縁があって厚真に親しい知人ができたこと。イベント企画の求人が出た時には、これまでの経験を生かしてみたいと決めました。10月のイベントではまだまだ課題もありましたが、20店舗ほどが参加して、町内の人も町外の人も楽しんでくれました。これからは、子どもからお年寄りまでたくさんの方に喜んでもらえるイベントを考えていきたいです」と話す。
現在、イベント企画室は計2名のスタッフがおり、事務所を本郷の空き店舗の一部を間借りして運営している。今後の予定としては、11月に「神社めぐり」、12月は「美苫ヌーボーパーティ」、1月は「あなたの夢をかなえます企画」と続く。また、これまでの人脈を生かし、講師を呼んでの講演会や料理教室なども計画中とのこと。この他にも、厚真町の特産物を使い、企業とのコラボレーション商品なども考えているという眞嶋さん。
「これからも、こぶしの湯あつまホームページやフェイスブックなどで随時情報発信していきますので、気になるイベントがあれば気軽に参加してもらえたらうれしいです。また、良いアイデアなどがあれば、ぜひ事務所に訪ねてきてください！」

(おことわり)
上記は、窓口などで、広報紙への掲載につ
いての確認ができた方を掲載しています。

人のうごき

10月1日～10月31日届出分

マチの善意



ホツとひといき

ひと雨ひと雨、季節が進むこの時期、私の身近な変化と言えば、夏に好んで食べていたソーメンが棚の奥へと追いやられ、代わりにシチュー・鍋・豚汁などが食卓の常連になってきたこと。どの料理を見ても2日目も現役で幅を利かせてくる「あったか料理」のベテランたちだ。

ベテランの特長といえば、2日目さらに美味しくなっていることや、季節の変わり目には崩しがちな体調整えもケアしてくれること。特に鍋と豚汁は、し

今日、鍋と豚汁は、し

キッズ12月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報

月	火	水	木	金
2 『Helloえいご』 開放日	3 厚南会館での あそびの広場の ため、午前休館、 午後開放日	4 びよびよ広場	5 乳幼児相談	6 開放日
9 開放日	10 開放日	11あそびの広場 『紙コップサンタ さん』 ※前日までに予約してね!	12 開放日	13 開放日 園ホール開放日
16 『Helloえいご』 開放日	17 開放日	18 子育て講座 『ママさんの骨盤 ダイエット』 ※予約必要	19 開放日	20 開放日
23 休館日	24 『クリスマス 会』 ※予約必要	25あそびの広場 『お正月飾り』 ※前日までに予約してね!	26 開放日	27 開放日
30 開放日 ※午後「玩具洗い」の ため休館	31 休館日			

※水曜日の午後はサークル活動日です。お母さん達の集まりの場にご利用ください。(要予約)

★子育て支援センター「ゆうゆう島」ホームページ
厚真町ホームページ <http://www.townatsumagi.jp/>
→トップページ→教育・文化→子育て支援センター「ゆうゆう島」

※利用時間 午前10:00～11:30 午後1:00～4:00

※『あそびの広場』 第2・4水曜日10:00～11:30

1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

※『Hello えいご!』 開催日の午前中

ALTのアリ先生が来てくれます。遊びながら楽しく英語に触れることができます。年齢に関係なくお越しください!

※『びよびよ広場』 第1・3水曜日10:00～11:30

0～1歳までのお子さんご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。

※開放日には、お気軽に遊びに来てください。

※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、そのほかお問い合わせは☎27-2438(直通) 子育て支援センターへ!!

☎27-2438(直通) 子育て支援センターへ!!

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に『図書カード』と『あつまくんグッズ』をプレゼントします。

問 題 さて、この虫は何でしょう?



▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。
▶しめ切り(当日消印有効) 11月29日(金)
▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120
厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)
【10月号の答え】 ナナカマド
【10月号の正解者】 応募者は10人で全員正解。抽選の結果、当選者には後日賞品を発送します。

クイズ・これなに?

みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328

みんなの



みんなの広場

子育て支援センターからのお知らせ

子育て講座 『ママさんの骨盤ダイエット』

- ◆日 時 12月18日(木)
10:15～11:00
 - ◆場 所 総合ケアセンターゆくり
1階 健康増進室
 - ◆講 師 マ・シェリ 藤田ゆかさん
 - ◆対 象 子育て支援センター利用者
 - ◆持ち物 タオル(汗ふき用)、お茶またはスポーツ飲料
 - ◆締 切 12月11日(木)
- ※人数を把握するため、必ずお申し込みください。

【お問い合わせ・申し込み先】
子育て支援センター(☎27-2438)

【お知らせ】
12月31日(木)～1月5日(木)まで休館となります。1月6日(金)から平常どおり開所します。



『クリスマス会』 サンタさん来るかな?

- ◆日 時 12月24日(木)
10:30～11:30
- ◆場 所 子育て支援センター
「ゆうゆう島」
- ◆内 容 手品、お遊戯、パネルシアターなど
- ◆対 象 0歳～小学校就学前までのお子さんと保護者
- ◆締 切 12月17日(木)
15組まで(先着順)

※定員になり次第、
締め切らせていただきます。



第7回あつま国際雪上3本引き大会

参加チーム募集!

厚真町の冬の一大イベントともいえる『あつま国際雪上3本引き大会』が、来年1月19日(日)に、かしわ公園野球場特設コート会場にして開催されることになりました。

- 日 時: 平成26年1月19日(日) 受付午前9時から
- 場 所: かしわ公園野球場特設コート(本郷)
- チーム編成: 競技者は8名(うち1名女性)
チーム登録は最大16名まで
- 参 加 費: 1人500円(昼食: おにぎり、そばを用意)
また、「こぶしの湯入浴券付き」
- 参加受付: 11月18日(月)から12月19日(木)まで
- 問い合わせ先
あつま国際雪上3本引き大会実行委員会(厚真町商工会内)
(☎0145-27-2456 / ☎0145-27-3877)



※大会フェイスブックで随時情報を更新中! (<https://www.facebook.com/3tug.of.war>)



173

それぞれの秋…。
～各学年の近況～

勉強の秋、スポーツの秋、読書の秋、食べ物の秋…。四季の中で最も多くの形がづく秋は、さまざまなことに挑戦するのに一番よい季節に違いありません。

3年生は進路に向けての取り組みが続いています。今年はいくつか以上就職希望者が多く、早い段階から希望先を定め、採用試験に向けて書類を整えたり、面接試験の練習をしたりしています。職員室の面接練習予約表は予約でいっぱい、放課後いたるところで練習の音が聞こえます。そんな努力が実ってか、希望者数が多いにもかかわらず内定率が例年以上に高く、学校のあちらこちらで毎日のように喜びの音が響いています。

2年生は3泊4日の見学旅行を経験しました。長崎で平和学習を行った後、関西で自主研修。大阪のユニバーサルスタジオのオフィシャルホテルに宿泊しました。台風を上手にかわし、連日好天に恵まれた4日間、有意義で楽しい時間を過ごしました。

1年生は落ち着いた秋を過ごしています。欠席や遅刻がほとんどない安定したその様子は、今の厚高を象徴するかのようです。

早いもので、今年度も折り返しを過ぎました。この後も引き続き充実した毎日が続くことを願ってやまない秋の日です。



厚真中央小 3年
佐藤 京右くん (7)

「ぼくがキリンを見ているところを作りました。キリンが舌を出してるところが上手にできたよ。」



厚真中央小 3年
高橋 鈴音ちゃん (8)

「ハロウィンの楽しい様子を紙版画で作りました。魔女とネコがほうぎに乗って空を飛んでいます。」

わたしたちの作品

ぼくの・わたしの
クラスじまん

ともだちっていいな



紹介してくれたのは…

上厚真小学校
1年生のみなさん

(書いてくれたのは)

1年生のみなさんと担任の佐藤 照美 先生

その142 上厚真小学校



上厚真小の1年生は、男の子9人、女の子5人のクラスです。毎日、楽しく元気よく、勉強も遊びもいっぱいしています。教室にはキアゲハの幼虫「あつくん」がいます。さなぎのまま冬眠しているようで、春になると、一緒に2年生になるのが楽しみです。

給食も好き嫌いせず、おいしく食べています。けんかもちよっぴりするけれど、思いやりのあるやさしいクラスです。

学習発表会では、みんなで協力し、助け合って、「スケーターワルツ」を上手に合奏することができました。お客さんからたくさん拍手をもらって、うれしかったです。

今、特にがんばっているのは、国語の漢字と算数の計算です。これからも友だちと仲よく、あきらめないでがんばることできる、ピカピカの1年生を目指します。

回答

- 宮城県・O型・みずがめ座
- 一期一会
- プロ野球の選手
- 【得意】算数 【苦手】音楽
- 5年目
- 人が優しく、自然がたくさんあるところ
- 【趣味】旅行、キャンプ
【特技】スキー
- ラーメン
- 深夜特急
- 失敗を気にせず、何事にもチャレンジしてください。

直撃インタビュー
〇〇先生を紹介します！
Vol. 20

上厚真
小学校



はりがい やすひこ
針谷 康彦 先生

質問

- 出身・血液型・星座
- 座右の銘
- 小さい頃の夢
- 得意・苦手だった教科
- 厚真に来て何年目
- 厚真の良いところ
- 趣味・特技
- 好きな食べ物
- 好きな本または映画
- 子どもたちにひと言

文芸あつま ◆短歌◆

屈みある三本足の子蛙を冬眠間近と背中撫でやる
恩師逝くかの頃のこと思ひ馳せ涙にじみて我は古希すぎ
樹木らは与えられたる場所に生き 春に花咲き秋に実をつく

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十八号』から抜粋)

(本町 飛谷 富夫)
(新町 徳地 美登)
(表町 藤井 健三)

今月の担当
保健師
笹森 あゆみ

冬の感染症を予防しよう！



風邪は悪化すると肺炎（発熱、咳、喘息、呼吸困難など）や中耳炎（発熱、不機嫌、耳を痛がる、耳だれ、耳の聞こえが悪い、長く続く咳、原因のわからない発熱）を引き起こすこともあるので、早めの受診が大切です。

寒くなると感染症が流行するのはなぜ？

気温と湿度が下がる冬に感染症が流行する理由として、次の3点が挙げられます。

①冬はウイルスが強くなる
ウィルスは低温・低湿度を好み、冬になると夏より長く生存できるようになり、感染力を強めます。冬場に風邪をはじめとするウィルス感染が多くなるのは、外気が寒く乾燥するためです。

②冬は人の抵抗力が低下する
低気温で体温が下がることで、人の免疫力は低下します。また、外気の乾燥に加えて、夏に比べて水分を積極的に摂取しなくなるため、体内の水分量も少なくなりがちです。人間の体は60％が水分ですが、体内の乾燥により喉や気管

支の粘膜がカラカラになると、本来粘膜でウィルスの侵入を防いでいる喉や鼻の粘膜が傷みやすくなり、ウィルス感染を起こしやすくなります。

③冬は飛沫感染の範囲が広がる
外気の乾燥によって咳・くしゃみの飛沫が小さくなり、飛沫に乗ったウィルスが遠くまで飛ぶようになります。

一度の咳・くしゃみによる感染範囲が広くなり、感染スピードが上がります。



冬はどんな病気が流行するの？

特に子どものいる家庭で気を

つけたい病気は次のとおりです。症状などをまとめて紹介します。

①ノロウイルス・ロタウイルス
症状 発熱、嘔吐、下痢、脱水、けいれんなど

②インフルエンザ
症状 高熱、頭痛、重症化する

とけいれん、意識障害など（幼児では不機嫌や元気がないなどが病気のサインになります）。

③RSウイルス
症状 発熱、咳、喘息（ゼーゼーと音がする呼吸）、顔色不良、不機嫌、呼吸困難など。RSウィルスは例年冬に感染のピークを迎えますが、今年は、8月の下旬頃から感染の増加がみられていますので、注意が必要です。

④風邪
症状 咳、鼻水、くしゃみ、発熱、のどの痛みなど。

寒さと乾燥に負けずウィルスを予防する方法

ウィルス予防には、手洗いうがい・マスクの着用が第一！とはいえ、どんな病気も一番の予防法は、正しい生活習慣です。よく寝て、よく食べ、運動もして元気に過ごすことが大切です。その他の注意点は、次のとおりです。

①タオルの共有を避ける
手についた見えない細菌やウィルスから感染してしまうことがあります。タオルは別々にしたり、こまめに取り換えたりして清潔にしておくことが大切です。

②排せつ物の処理
小さなお子さんがいるご家庭では、オムツを処理する機会が多いと思います。下痢や病気の



今月のつばやき
我が家では、既に風邪が大流行。今回こそは感染を避けたい…そんな思いで、ビタミン補給に努める日々です。

ほけんの掲示板 12月



三種混合予防接種

とき 16日(月)～20日(金) ※19日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 ①1期初回：初めて予防接種を受ける場合は、生後3カ月～12カ月が標準的な接種年齢となります。今までに1期初回を1回以上接種して、生後12カ月を越えている場合は、48カ月までに行えるだけ終了してください。
②1期追加：1期初回接種(3回)終了後、12カ月～18カ月までに行えるだけ終了してください。
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 24日(火)～27日(金) ※26日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 ①生後12カ月～24カ月までのお子さん
②H19.4.2～H20.4.1生まれのお子さん（来年度就学予定のお子さん）
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

ヒブ感染症※1・小児肺炎球菌感染症※2 予防接種

とき 毎週 月曜日～金曜日
※木曜日の午後および祝日は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 生後2カ月～60カ月に至るまで
標準的な接種年齢
〔※1・2共通〕初回接種開始：生後2カ月～7カ月
〔※1の方〕追加接種 初回終了後、7～13カ月
〔※2の方〕追加接種 生後12カ月～15カ月
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

なかよし広場・乳幼児健康相談(厚南会館)

とき・ところ 3日(火) 厚南会館
対象 H24年9月～H25年10月生まれのお子さんと保護者
内容 10:00～10:45 受付
10:00～11:00 計測、相談、自由遊び
11:00～11:30 なかよし広場(手遊び、パネルシアターなど)
持ち物 母子健康手帳、バスタオル
その他 乳幼児相談となかよし広場を同時に開催します。計測は上記の対象児に行いますが、なかよし広場は就学前のお子さんならどなたでも参加できます。

乳幼児健康相談

とき 5日(木)
ところ 子育て支援センター 10:00～11:00
対象者 H24.9月～H25.10月生まれのお子さん
持ち物 母子健康手帳、バスタオル

四種混合予防接種(ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)

とき 9日(月)～13日(金) ※12日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、必ず町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 1期初回：初めて予防接種を受ける場合は、生後3カ月～12カ月が標準的な接種年齢となります。※ポリオ予防不活化ワクチンおよび三種混合予防ワクチンを1回でも接種している場合は、原則対象外です。
※上記以外の場合は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

小児マヒ(ポリオ)予防不活化ワクチン接種

とき 9日(月)～13日(金) ※12日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、必ず町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00～11:30、14:00～16:30)
対象児 生後3カ月～90カ月までで、1期初回および追加に該当するお子さん
※生ポリオワクチンをすでに2回受けている方は、接種の必要はありません。
※できるだけ標準的な接種年齢の間に接種を受けてください。
【標準的な接種年齢】生後3カ月～12カ月
※不明な点は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

苫小牧市夜間・休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜日	受付時間	(住所) 苫小牧市旭町2-9-2 (☎ 0144-35-0001) (☎ 0144-35-9099)
月曜日～金曜日	19:00～翌朝7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。
土曜日	14:00～翌朝7:00	
日曜日・祝日	9:00～翌朝7:00	

★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
<http://www.toma-med.or.jp/>
また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
携帯電話用URL <http://www.toma-med.or.jp/phone/>
※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承ください。

【お知らせ】
12月の日曜・祝日当番医は『情報ひろば』に掲載しています。

お知らせ
道立苫小牧病院の
廃止について

北海道では、道立苫小牧病院について、平成26年3月31日をもって廃止することとしました。

道立苫小牧病院は、昭和29年に結核療養所として開設以来、東胆振・日高地域における結核および結核後遺症の患者に対する医療を担ってまいりましたが、近年、結核患者数が大きく減少していることから、結核医療および呼吸器疾患に対する医療については他の医療機関を受診していただくこととしました。

廃止後の医療について、結核で入院が必要な場合は札幌などの結核病床を有する専門医療機関での受け入れとなりますが、緊急の場合や重篤な合併症により専門医療機関までの搬送が難しい病状にある結核患者については、苫小牧市立病院で一時的に受け入れしていただくこととしております。また、呼吸器疾患に対する医療については、苫小牧市立病院や王子総合病院などの医療機関を受診していただくこととしております。

■問い合わせ先
北海道保健福祉部医療政策局

道立病院室（☎011-231-4111 内線25-855）

相談
「困りごとなんでも特設相談所」を開設します

苫小牧人権擁護委員協議会では、人権週間（12月4日～10日）期間中、次の日程で「困りごとなんでも特設相談所」を開設します。

■日時 12月5日（木）午後1時～午後4時まで
■場所 総合福祉センター 第1会議室
■相談員 厚真町人権擁護委員 問い合わせ先
札幌法務局苫小牧支局（☎0144-347151）



お知らせ

登記の「ご相談の際はぜひ」予約を！

札幌法務局苫小牧支局では、各種登記手続きの相談に対応するため、事前にご予約をいただいています。

■申し込み・問い合わせ先
札幌法務局苫小牧支局（苫小牧市旭町3丁目3番7号 ☎0144-347403）

情報
パソコン講習を
行っています

苫小牧地域職業訓練センターでは、毎月パソコン講習を企画しています。

11月は初心者向け2コース（初めてのパソコン、Word2010で作る文書初級）、中・上級者向け1コース（PowerPointを使って発表資料作成）、上級者向け1コース（Access2010を使って情報管理）の計4コースを実施予定です。

■講習日程・受講料など
詳しくは、苫小牧地域職業訓練センターまでお問い合わせください。

問い合わせ先

苫小牧地域職業訓練センター（ホームページ）
http://www.tomakomaiac.jp/（☎0144-5516622）



お知らせ
電気メーターには
有効期限があります

取引や証明に使用される電気メーターは検定が必要であり、その有効期限が定められています。

有効期限は、電気メーターに貼られたシールで確認してください。シールがないものや、有効期限が切れた電気メーターは、使用できません。

■問い合わせ先
日本電気計器検定所北海道支社（☎011-66812437）または北海道経済産業局資源エネルギー環境部電気・ガス事業室（☎011-70918353）



支給・貸付
交通事故被害者への
援護制度があります

独立行政法人自動車事故対策機構（N・A・S・V・A）は、自動車事故被害者への援護業務を行っている政府の関係機関です。N・A・S・V・Aは、重度の後遺障害を負われた方への介護料の支給と交通遺児等への育成資金の無利子貸付業務を行っています。

■介護料の支給
自動車（バイク含む）事故に

よる重度後遺障害（脳損・脊損）により介護を要する方へ、後遺障害の程度などに応じて介護料を支給します。

■交通遺児等育成資金の貸付
自動車（バイク含む）事故により死亡または重度後遺障害（脳損・脊損）を負われた方の義務教育終了前の子弟に対し、月々一定額の育成資金を無利子で貸し付けします。

■問い合わせ先
自動車事故対策機構札幌主管支所（☎011-55112145）
（ホームページ）
http://www.nasvago.jp/（シナスバで検索）

「道の駅検討委員」を募集しています

町では、道の駅登録に向けた取り組みについて検討するため、「道の駅検討委員」を募集しています。

■募集人数 5人

希望される方は、11月25日（月）までに役場産業経済課商工観光林業水産グループ（☎27-2486）へお申し込みください。

毎年11月は「児童虐待防止推進月間」です

- ・気になるお子さんを見つけたときには、役場町民福祉課福祉グループまたは室蘭児童相談所等にご連絡ください。
- ・通報の秘密は守られます。匿名でも構いません。
- ・痛ましい事故から子どもたちを守るため、あなたの声を届けてください。

連絡先

- ・役場町民福祉課福祉グループ（☎26-7872）
- ・北海道室蘭児童相談所（☎0143-44-4152）
- ・全国共通ダイヤル（☎0570-064-000）（最寄りの児童相談所につながります）

平成26年度
苫小牧高等技術専門学院 学生募集

苫小牧高等技術専門学院では、下記のとおり平成26年度の学生を募集しています。

募集科目および応募資格	
科目	訓練期間
電気機器科	1年間
金属加工科	
普通過程	両科とも各20人
定員	

■出願書類
入学願書、健康診断書、受験票を提出してください。（いずれも学院所定のもの。ただし、健康診断書は各高等学校の様式でも可。）
※離転職者および離転職しようとしている方、障がいのある方、アイヌの方、母子家庭の母等の方は、最寄りの公共職業安定所で雇用保険等の相談を行った後、指示された方法で願書を提出してください。

■受付期間（最終日消印有効）
平成25年11月21日（木）～12月15日（日）まで
〔持参する場合〕受付時間は午前9時～午後5時まで（月～金曜日）土日祝日は受付できません。
〔郵送の場合〕不着事故防止のため、必ず書留で封筒の表に「願書」と朱書きしてください。

■試験日時
平成25年12月20日（金） 午前9時から

■合格発表
平成25年12月27日（金）

■必要経費
・検定料2,550円、入校料7,340円、授業料153,600円（年額）
・実費負担経費は92,300円～117,300円（25年度実績）

■提出先・問い合わせ先
北海道立苫小牧高等技術専門学院
〔担当〕訓練課長 小泉
〒053-0052
苫小牧市新開町4丁目6番10号（☎0144-55-7007）
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/tms/

12月の日曜・祝日当番医				
日程	区分	病 院 名	住 所(苫小牧市)	電話番号(0144)
1 日 (日)	内科系	吉川医院	表町5-2-3	34-4565
	外科系	ともより整形外科	東開町4-21-22	57-8211
8 日 (日)	内科系	柴田内科循環器科	桜木町1-24-18	71-2225
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
15日 (日)	内科系	いちむら小児科医院	ときわ町5-18-15	67-1111
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
22日 (日)	内科系	川村クリニック	有珠の沢町4-20-31	74-5577
	外科系	わだ脳神経外科クリニック	表町2-1-16	37-3711
23日 (月・祝)	内科系	にしん内科クリニック	日新町2-6-43	71-1500
	外科系	とよた腎泌尿器科クリニック	元中野町2-17-12	31-2000
29日 (日)	内科系	さくらファミリークリニック	東開町3-17-21	55-6526
	外科系	光洋いきいきクリニック	光洋町1-16-16	71-2700
31日 (火)	内科系	うとないキッズクリニック	北栄町1-22-36	53-8080
	外科系	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000

（診察時間）9：00～17：00
当番医は変更になることがあります。
新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。

（お知らせ）
『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。
ホームページアドレス
http://www.qq.pref.hokkaido.jp
電話
フリーダイヤル 0120-20-8699
携帯電話・PHSからは 011-221-8699

幅田 ^{ゆうしん} 雄心くん
H 21・10・20 生
父— 洋 司さん
母— 麻 衣さん
(表 町)

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「明るくて体を動かすことが大好きで、いつも笑って家族を元気にしてくれる子です。いつもパパとお化けごっこなど体を使って元気に遊んでいます。ラーメンと甘いものが大好きです。」



厚田 ^{そうすけ} 湊祐くん
H 21・11・1 生
父— 倫 史さん
母— 智 子さん
(新 町)



まちのアイドル 367

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「お兄ちゃんが大好きで、いつもお兄ちゃんの後ろをついて歩いている甘えん坊です。家では面白いことをして家族を和ませてくれます。最近は虫取りやハサミで物を切るのが楽しいようです。」

■今月の表紙

「Trick or Treat !」10月25日、総合福祉センターで「ハロウィンパーティー」が行われ、町内の小学生 100 人が参加。A L T やボランティアの高校生と一緒に、さまざまなゲームなどをして楽しみました。

【今月の内容】

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| ☑ 森の小路づくり | ☑ 3 町広域交流事業協定終了に伴う施設等の料金変更 |
| ☑ 厚真町グリーン・ツーリズム通信 | ☑ I L O V E あつま |
| ☑ マチの家計簿 | ☑ みんなの広場 |
| ☑ あつま未来箱状況報告 | ☑ まなびや |
| ☑ まちの話題 | ☑ 健康情報・ほけんの掲示板 |
| ☑ 気象台からの防災メモ | ☑ 情報ひろば |

2013 年 11 月

NO. 735

10 月 31 日現在の人口
4,738人(前月比 - 3)
男 2,319人／女 2,419人
世帯数 2,089(前月比 - 1)